

【高等学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立佐賀工業高等学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標を達成すべく、年度の重点目標を定め、各評価項目について取り組み、「概ね達成できた」と考える。 未来に貢献する工業技術者になるためには、自ら学び、考え、行動できる生徒を育成することが大切である。実習課題、課題研究では互いに学び合える授業展開が図られているが、他の科目においても推進したい。 進路指導では高い就職率を誇っており、指導体制も充実している。今後は、大学進学等への進学体制を構築していくことが必要である。
------------------	---

2 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の発展のみならず、日本の産業界を牽引し、倫理観をもって未来に貢献する優秀な工業技術者を育成する。 主体的な学び、協働学習、探究活動を重視した教育を実践し、時代に即した柔軟な考え方を創造できる力を育む。 専門分野の基礎的な知識・技術を習得するとともに、先端的技術と融合させた学習を取り入れ、文武バランスの取れた環境を整えることで、自ら学び、考え、行動できる生徒を育成する。
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>○“ものづくり”から“者(ひと)づくり”そして“未来(あす)づくり”</p> <p>ア 新たな課題への着実な対応 イ 深い生徒理解に基づく指導 ウ 規律ある高校生活の定着</p> <p>エ ものづくり教育の推進 オ 部活動の充実</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価	主な担当者
---------------	--------	-------

(1)共通評価項目				最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		
	取組内容	成果指標(数値目標)		達成度(評価)	実施結果	学校関係者評価 評価 意見や提言
●学力の向上	○「わかる授業」の実践と学習意欲の向上に向けた学習指導の改善	○授業アンケートにおいて丁寧で分かりやすいと感じている生徒の割合が95%以上になるようにする。	・各教科で年1回以上研究授業・公開授業を行い、職員同士が相互に指導助言を行うことで指導力向上を図る。			教務主任
	○資格取得の推進 ・各科における重点資格と検定試験の合格率の増加 ・ジュニアマイスター顕彰の取得者の増加	○無資格者を0にする。 ○ジュニアマイスター顕彰取得者数を100名以上を目指す。	・科の職員や担任と連携して資格取得者を増やす。 ・難易度が高い資格・検定を積極的に挑戦させる。			工業教育主任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育講演会後のアンケートで、生徒の理解度「おおむね理解できた」、「理解できた」あわせて90%以上を目指す。	・本校職員による、人権や安心・安全に関する道徳講演会の実施 ・「情報」、ホームルーム活動において情報モラル教育、人権教育を実施			生徒指導主事
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学期ごとにいじめアンケートを実施する。 ○生徒が安心して学校生活を送ることができるように相談環境を整える。	・教職員やスクールカウンセラーとの連携を密にし、早期発見・早期対応に努める。 ・生徒が話しやすい環境づくりに努め、十分に話を聞き、深い生徒理解につなげる。			教育相談担当
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○「佐賀を誇りに思う教育」のアンケートで「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかといえば感じる」と回答する生徒が75%以上になるようにする。	・「佐賀語り」を活用し、佐賀県の良さを再発見させる。また、ふるさと佐賀の課題を設定し、クラス討議を行う。 ・外部指導者を招聘し、郷土愛を育む講演を行う。			教務主任 (さが誇・人権担当)
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○睡眠、食事、運動を十分に取ることを意識した日々を送る生徒を90%以上にする。	・「保健だより」において、質の高い十分な睡眠、バランスの取れた食事、適度な運動の必要性について具体的な情報を掲載することで、生徒の意識付けを行う。 ・アンケートを実施することで、生徒が自分の生活を振り返る機会を持ち、改善につなげる。			保健主事 (食育推進担当)
	●安全に関する安全に関する資質・能力育成 ○「モラル」の形成 交通に関するモラル SNS利用に関するモラル	○生徒の交通事故0(ゼロ)を目指す。 ○ネットパトロール指導事案0(ゼロ)を目指す。	・自転車マナーアップモデル校として、県警本部交通企画課と連携を図りながら実施される行事をとおして、交通安全に対する意識を高める。 ・本校職員が生徒に身近な問題を取り上げた講話を行うことで、深い理解につなげる。			生徒指導主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●教職員の時間外在校時間の年間平均を昨年より5%削減する。	・業務を見直し、業務の効率化・平準化を図ることにより個人の負担を軽減する。 ・定時退勤推進日、部活動休養日、学校閉庁日を設定し、時間外勤務時間の縮減とともに休暇を取得しやすいようにする。			教頭
	○教育行政職員の学校運営への積極的参画と教員との連携促進	○教育行政職員の専門性を活かし、教育的視点を持ちながら学校運営に積極的に参画する。	・学校教育目標を達成できるよう学習環境の改善・整備を行う。 ・教育職員が担当しているICT業務の軽減に向けた取り組みを行う。			事務長

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		
	取組内容	成果指標(数値目標)		達成度(評価)	実施結果	学校関係者評価 評価 意見や提言
○進路実現	○生徒・保護者の希望や要望をふまえ、生徒の能力や適性を考慮した指導を行う。	○進路意識の向上と、職業・勤労観を育成し、キャリア教育の推進を図る。 ○就職試験の1次合格者を95%以上を目指す。 ○国立(工業系学部学科)大学、工業高等専門学校編入の合格者数5名を目指す。	・卒業後の就職・進学先でのミスマッチを防ぐ観点からも、生徒や保護者への詳細な情報提供を行い、個人面談を積極的に行う。 ・進学者対策として、補習等で基礎学力だけでなく、応用力を向上させる。 ・面接や集団討議等の指導を早い時期より実施するなど、採用試験時の対策を行う。			進路指導主事
★ものづくり教育の推進	★実習・課題研究等のものづくり教育をとおして主体的な学び、協働学習、探究活動を充実させる。 ○ものづくりの楽しさを工業高校の魅力を中学生やその保護者に発信する。	○主体的に他社と協力し合って学習に取り組めたとする生徒80%以上を目指す。 ○自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合80%以上、教職員の割合80%以上を目指す。	・主体的な学び、協働学習、探究活動を重視した実習内容を取り入れる。 ・生徒同士で協働し探究活動を行う環境づくりや実践的な指導を取り入れる。 ・ハイスクールウェビナー、高校進学説明会、体験入学等で内容を工夫して本校の魅力を中学生とその保護者に伝える。			主幹教諭
○部活動の充実	○部活動を通し、コミュニケーション力の育成、幅広い人間関係の形成	○部活動加入率90%以上を目指す。部活動に入り、コミュニケーション力がついたと実感できる生徒が80%以上を目指す。	・部活動に所属していない生徒に入部の呼びかけを行う。			特活指導主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---